

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、摩擦・潤滑・材料技術を基盤として、エンジニアリングの基礎をなす独自性のある製品を時流に先んじて創り出すことでお客様に貢献し、社会の繁栄に寄与することを基本理念としています。また、スピードある「開かれた経営」を行い、株主・顧客・社員の信頼と期待に応え、社会とともに成長発展をめざすことを念頭において経営しております。

(2) 目標とする経営指標

当社は、中長期の経営目標としては、自己資本当期利益率(ROE)を重要な経営指標として位置付け、資本の効率化に向けた施策を併せて行なうことで、企業価値の向上に取り組んでまいります。

具体的には、次の(3)中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題で述べております方策を着実に実施し、今後の目標達成を目指しております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題

今後の自動車産業は、需要回復の兆しが見えはじめたものの、環境志向の高まりによる低燃費車対応や新興国における低価格車競争がますます激しくなるなど、今後も激動の中での企業経営が強いられることが予想されます。

このような厳しい経営環境のなかで、当社グループは、「VISION2015」で掲げた、①「自動車用すべり軸受分野で、世界No.1の実現。」、②「非軸受分野で、トップブランドの確立。環境・エネルギー・安全等の課題解決に寄与する新商品の開発・提供。」、③「工機分野で、大豊グループの総合力を生かした、型・設備・製造システム商品の確立。」を実現するために、次の中期経営計画を策定し、取り組んでまいります。

■ 中期経営方針

「基本に忠実な企業体質づくりと未来への飛躍」

■ 経営スローガン

「基本にかえり、未来を創造」

■ 中期目標

1. 環境、安全、コンプライアンスが浸透した、地球と社会にやさしい企業グループ
2. 技術・品質、No.1 のトップブランド商品を提供する企業グループ
3. 経営資源の最適配分により、世界に広がる企業グループ
4. 未来をになう人材を育成し、成長を続ける企業グループ

今後、「VISION2015」の実現および中期経営計画の達成に向けて、更なるグループ経営基盤強化を図り、施策を確実に成果に結びつけていく中で、株主、顧客、社員、地域社会等、全てのステークホルダーの皆様にご信頼され、満足いただける強固かつ高収益な体質づくりに向け、グループ一丸となり、努力してまいります。

特に2010年度は、「VISION2015」達成に向け、以下の3つの指針を掲げました。

1. 確固たるエンジニアリングに立脚した製造業を目指し、システム商品を拡大する。
2. 生産・製造技術を革新する。
3. 全社管理システムを革新する。

これを柱に、プロジェクト体制を構築し、組織効率の向上を図り、未来へ飛躍するためのステップアップの年度として、更なる経営基盤強化を目指してまいります。